



2022.1.16 焼き芋

成長に招かれた信仰生活

主任司祭フィラデルフイ・パヴォール

使徒ペトロの手紙の中には「ペトロの手紙一・二七）、信仰生活を安定させ、成長させることに呼ばれていません。特に、最後の一箇所では、自分のものにしなければならぬものを順番に並べて、次のように勧められています。「だから、あなたがたは力を尽くして信仰には徳を、徳には知識を、知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には信心を、信心には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。」このようなりすとを見ると、やはり、頑張らなければいけないという印象にも見えますが、ペトロが書いているように、力を尽くす以外に、命と信心に必要なものはすべて、既に神様の力によって与えられたという確信も必要なのです。さて、右に出したリストの内容を調べましょう。その最初は、「信仰」(ギリシャ語の *piis* : 英語の *faith*) です。信仰は神様に一番基本的な応答です。その次の「徳」(*areté*; *virtue*) は、神様の行いの特徴づけるものであり、それに従い、信仰に特別な質を付け加える役割があります。「知識」(*gnosis*; *knowledge*) は、使徒ペトロによく強調されるものですが、その役割は真実に従うことです。信仰は理解を探すとされるのです。自制には、正しくない欲望や世の無秩序に耐える能力があるのです。次に、信仰や徳を持ち続けるためには「忍耐」(*hypomoné*; *endurance*) が必要です。「信心」(*eusebeia*; *devotion*) は、どの時でも自分と自分の行いを神のみに捧げるように促されています。最後の二つに勧められたものは「兄弟愛」(*philadelphia*; *mutual affection*) と「愛」(*agapé*; *love*) なのです。兄弟愛と言えば、支え合いながら生きることや一つの意思を持って神をたたえることを結び付けるものです。愛と言えば、私たちのすべての努力の目標であり、神である主を愛することと隣人を自分のように愛することなのです。

それでは、使徒ペトロの言葉に励まされ、成長して行くことが出来ますように力を尽くし、既に与えて下さった神様の恵みを心に受け止め、感謝し、私たちの人生の中に新しい実りを結び付けることが出来ますように。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(小聖堂)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (午後4時、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・11時・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

世界代表司教会議

第16回通常総会(シノドス)

「意見聴取に参加する皆さんへの質問票」

※質問は、パチカンからのものでも、名古屋教区からのものでも結構です。

※答える時に、本表に記入するか質問も書いた上で答えて下さい。

パチカンからの質問と名古屋教区からの質問があるので、どの質問に答えたかを知るためです。

※質問について、個人でも、あるいはグループ(自由な集まりでも何かの会の集まりでも)、自由に話し合ってください。質問のすべてでなくても、話しやすいところから一つでも二つでも結構です。

※答えた内容は、直接教区でも、小教区で集めて送っていただいても結構です。

○教区に提出される場合…ワードにてメールで2022年5月9日(月)までに教区事務所に送ってください。

(送付先

ourria@nagoya.catholic.jp)

○南山小教区に提出される場合…ワードにてメールで2022年3月28日(月)までに南山教会事務所へ送ってください(送付先

jimu_nan9131@gmail.com)。

ワード文書の作成・メールの送付が困難な方は下記表に手書きで記入し南山教会事務所にお持ち下さい。外国語もそのまま結構です。

以上の点に留意し以下の質問に答えてください。

教区より

ともに歩む教会のため交わり、参加、そして宣教

一、私(たち)は「共に歩んでいる」と感じたこと、体験したことがありますか？

教会では・・・、社会の中では・・・。

二、共に歩むために大切なことは何ですか？また共に歩むことを妨げることは何だと思えますか？

三、私(教会)が共に歩んでこられなかった(こなかった)人々がいますか？なぜ、共に歩むことができなかったのでしょうか。

四、これから共に歩む教会になるために何が大切でどうすれば良いと思いますか。教会の中に共に歩むための力になる良いものがありますか。

パチカンより

一、旅の同伴者

皆さんの教会で、「わたしたちの教会」というとき、誰がその仲間でしょうか、逆にどういう人、またはグループが、教会の辺縁部に

取り残されているのでしょうか。

二、聴くこと

教会の内部で、また教会外の人々と、わたしたちの教会は、それぞれ誰に対し「耳を傾ける」必要があるでしょうか。何が、耳を傾ける助けと妨げとなるでしょうか。

三、声に出すこと

私たちの生活の中で、また地域社会やその団体の中で、福音の価値を公に伝える場面がありますか。そのために、何が助けと妨げになるでしょうか。社会に対して、誰が教会を代表して発言しますか。

四、祝うこと

祈りと典礼において、信徒を含め、信者全体はどのように参加しているでしょうか。参加は進んでいるでしょうか。後退しているでしょうか。

五、宣教における共同責任

皆さんの教会では、信仰教育や、社会での奉仕活動の計画は、だれが、どのように決定しているのでしょうか。誰が担っているのでしょうか。その人たちはどのように選ばれ、どんな養成を受けていますか。それ以外の人たちは彼らを十分に支援していますか。

六、教会と社会における対話

わたしたちの教会で、そのビジョンや方針はどのように話し合われ、決められていますか。近隣の

教区、地域の修道会、信徒団体など、どのような対話と協力をしているのでしょうか。信者以外の一

般の人々と、どういった対話、協力の経験があり、彼らからのように学んでいますか。

七、他のキリスト教諸派とともに

皆さんの教会の周辺で、他のキリスト教諸派の兄弟姉妹とどのような関係性をもっていますか。どういった分野に彼らは関心があるのでしょうか。彼らとの対話の実りと妨げは何でしょうか。

八、権威と参加

教会や教区の目標、その達成のための方法、踏むべき段階は、誰が、どのように決定していますか。チームワークと共同責任は、どう実践されているでしょうか。信徒の参加はどうでしょうか。教区レベルで、共同決定・共同責任を実践する機会はありますか。その実りと妨げは何でしょうか。

九、識別することと決断すること

教会での決定の中で、どのような手順と方法で、わたしたちは共同で識別し、決定を下すのでしょうか、どうすれば、それらは改善できるでしょうか。透明性と説明責任を、どのように促進できるでしょうか。

十、シノダリティの中で自己形成

すること

教会の中で責任ある役割を担っている人々が、互いに耳を傾け合い対話しながら、「ともに旅をする」教会がさらに成長し、共同で識別と決断できるようになるため、わたしたちはどのような養成ができるでしょうか。何が妨げとなるでしょうか。

シノドス質問票の説明

信徒の皆様、ご承知のように全世界で働く司教様方が教皇様の元に集まり教会の様々な事柄について話し合う会議、シノドスが開催されます。この準備のためにバチカンから司教様方に質問状が届いています。私たちの松浦悟郎司教様は広く教区民の声を知するために私たちに向けて「バチカンからの質問」、また「名古屋教区からの質問」を届けました。私たちの教会に関する質問に私たちが答えることが出来ます。個人で答えることもできますし、小さな共同体で分かち合って答えることもできます。私たちの教会の未来のために、よく祈り、心を整え、深く思慮し、回答することが望ましいです。

典礼一口メモ

香部屋の窓から 第48回

「みことばの朗読」のお話

典礼委員長 新内飛鳥

ミサは大きく分けるとことばの典

礼と感謝の典礼で成り立っています。ことばの典礼の主要な部分を構成するのは、聖書からとった朗読と、朗読の間にある歌です。説教、信仰宣言、および共同祈願すなわち信者の祈りは、それを展開し、結びます。説教による解説を伴う聖書朗読の中で神はその民に語られ、あがないと救いの神秘を解き明かし、霊的な糧を与えられるのです。そしてキリストはご自身の言葉によって信者の間に現存されます。この神の言葉を会衆は沈黙と歌によって自分のものと信仰宣言によって自己に結合します。また神の言葉に養われた会衆は、共同祈願によって教会全体の必要と全世界の救いのために祈りをささげます。もう少し分かりやすく言うと、聖書が教会で朗読されるときには、神ご自身がその民に語られ、キリストはご自身の言葉の内に現存して福音を告げられるということです。したがって神の言葉の朗読は典礼の最も大切な要素の一つであり、一同は尊敬をもって、これを聞かなければなりません。とりわけ福音朗読には最大の尊敬をほらうべきなのだということは典礼自体が教えています。他の朗読にもまして、特別な栄誉をもって福音の朗読は飾られています。福音を告げ知らせる

奉仕者は、祝福あるいは祈りによって準備し、信者はキリストが現存し自分に語っておられることを応唱によって認め、公言し、朗読そのものを起立して拝聴するのです。また福音書に対する尊敬のしるし(例えば献香など)によっても際立っています。ここで沈黙に触れます。朗読は沈黙によって深められるからです。ことばの典礼は黙想を助けるように行われなければならない。内省を妨げるような落ち着きのない行動は避けなければいけません。ことばの典礼では集まった会衆に合わせて短い沈黙のひと時をとることが望ましいです。それによって聖霊に促され神の言葉を心で受けとめ、祈りをとおして応答を用意することが出来ます。このため南山教会では第一朗読と答唱詩編の間、第二朗読とアレルヤ唱の間、説教の後などに沈黙の時間を取るようにしています。聖書朗読において神の言葉の食卓が信者に備えられ、聖書の宝庫が開かれます。したがって新旧両訳聖書の統一と救いの歴史の統一を明らかにする、聖書朗読の配分が保たれるようにしなければなりません。また、言わずもがなであります。神の言葉を含む朗読と答唱詩編を聖書以外の他の文書に変えるべきではありません。

○運営委員会からお知らせとお願

まん延防止等重点措置が出されてからも、COVID-19オミクロン株の感染者が増加傾向が続いており、クラスター発生防止策として、教会においても密閉・密集・密接回避の基本的感染予防対策を強化する必要があります。以下、ご協力をお願い致します。

- 一、手指消毒・記名・検温・マスク着用義務などを継続して行っています。
- 二、ミサはこれまで通り行われます。
- 三、ミサ終了後は速やかに帰宅してください。
- 四、比較的ミサ与られる方の少ない日曜8時、18時のミサへの分散をお願いします。
- 五、ミサ閉祭後は、司祭が退堂したら、すみやかにご使用になられた座席を除染し、玄関で手指のアルコール消毒をしましょう。
- 六、教会行事、勉強会、各団体の会合は、必要最小限としていただき、十分な対策のもと行っています。



聖ルドビゴ茨木

ルドビゴさまは 十二歳
耳をそがれて しぼられて
歩む千キロ 雪のみち
小さい足あと 血がにじむ

ルドビゴさまが につこりと
笑ってやりを 受けたとき
西坂丘の 夕映に
ほろりと散った 梅の花

永井隆

2月5日
日本二十六聖人記念日

長崎奉行代理が茨木のいたいけな姿
に同情して、
「信仰さえ捨てれば、私の家に引き
取って武士にしてあげるが、どう
だ。」
と言った。すると茨木は、
「私は人の気に入るために神様に背
くことはできません」
ときっぱり断ったという。

「教会の聖人」 池田敏雄 著

信者の消息

帰天 神の栄光にあずかれますように

2020/8/31 エマニュエル 市村 卓彦 (76歳)



聖家族のイコン巡回 と聖ヨセフの祈り



転倒滑り防止ラバー

雪で滑って転倒しないようにパウロ神父様が設置してくれました。取り外し自由ですので必要な時に設置します。

2022年2月 - 3月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
2月	2(水) 主の奉献	27(日) 9:30 聖信式・日英合同ミサ	4(金) マリア会例会 (懇談会) 5(土) 典礼委員会 6(日) 運営委員会 13(日) ヨセフ会班長会・新年会・教会周辺清掃 19(土) 子ども部屋	5(土) 殉教者祭 (栄國寺) (高山右近) 19(土) レジオマリエ 名古屋クリア
3月	聖ヨセフの月 2(水) 灰の水曜日 (大齋・小齋) 6(日) 四旬節第一主日 19(土) 聖ヨセフ 25(金) 神のお告げ	2(水) 灰の水曜日ミサ (7:00、10:00、19:00) 6(日) 洗礼志願式 (土)(日) 共同回心式	4(金) マリア会例会(懇談会) 5(土) 典礼委員会 6(日) 運営委員会 19(土) 子ども部屋 20(日) ヨセフ会班長会・教会周辺清掃 20(日) 中高生会卒業式・終業式 20(日) 教会学校卒業式・終業式 26(土) 要約筆記付きミサ	2(水)~四旬節愛の献金(四旬節中) 6(日) 城東ブロック会議 18(土) レジオマリエ 名古屋クリア 21(月) 司祭・修道者 金銀祝の祝い 21(月) 司教座聖堂献堂記念日